

まちづくり地域懇談会（ぼろろ）＜議事概要録＞

日 時 平成28年11月6日（日）
13時30分から14時30分
場 所 生涯学習センターぼろろ
3階会議室

【参加者】：19名（男性15名、女性4名）

※報道機関無し

【町サイド】： 6名
三好町長、小林副町長、森課長、渡部主幹、
舛舘主査、佐藤主事

<p>1 開 会 事務局</p>	<p>みなさん、こんにちは。ただいまから、まちづくり地域懇談会を開催させていただきます。本日は、大変寒い中、また、日曜日の開催にも関わらず、ご参加をいただきましてありがとうございます。私、本日の進行役を務めさせていただきます、役場まちづくり課の森と申します。よろしく願いいたします。大変恐縮ですが、携帯電話等につきましては、マナーモードに設定するなどのご配慮をお願いいたします。</p> <p>それでは、恐縮ですが座って進行させていただきます。まず、本日の懇談会のテーマについて、少しお話をさせていただきます。昨年開催させていただいた地域懇談会では、「地方創生」が主なテーマとなっておりましたが、これは主に人口減少を抑制するための施策や事業についてでした。今回は、「総合計画の策定に向けた意見・提言」となっておりますが、総合計画とは、町が独自に策定するものでして、南幌町が目指していく方向性について、政策や事業などを具体的に明らかにするものです。</p> <p>現在、策定作業を進めている「第6期南幌町総合計画」は平成29年度から平成38年度までの10年間を予定しており、こちらは産業経済・教育文化・医療福祉・生活環境など、本町のまちづくり全般に係る計画となるもので、今の段階としては、町民の方に審議会の委員として参画していただき、また町議会にも説明・協議をさせていただくほか、町民アンケートの実施や子育て世代を呼び込むことをテーマとした、まちづくりワークショップなども開催しながら進めているところです。</p> <p>本日の懇談会では、現段階における総合計画の策定概要や主</p>
----------------------	---

<p>2 挨拶 事務局 町長</p>	<p>な事業等について、ご説明をさせていただき、その後で、会場の皆様からご質問やご意見をお伺いしたいと考えております。その後、地域課題等について、会場の皆様と町長との懇談を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、終了時間の予定でございますが、懇談会全体では約1時間半程度と考えており、おおよそ午後3時頃を目安とさせていただければと思っておりますが、質疑応答やご意見などにより前後することがありますことをご了承願います。</p> <p>それでは、三好町長より皆様にご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆さんこんにちは。天候が悪い中ご出席いただきありがとうございます。今年は気象変動が激しい年かと思っておりますが、今朝から大雪でありまして、私の方面では20センチくらい積もっておりました。ニュースの中で札幌市がこの時期で豪雪30センチを超えたのが21年ぶりという話であり、札幌中心にこちらも降っています。今年も全国的に色々な災害が起きていまして、北海道も台風が3つ上陸し、1つ横を通過するなど、4つの台風が影響を及ぼしました。お陰様で、この地域には大きな被害が無く済みましたが、しかしながら道内では、多くの地域で水害による被害が多く発生し、あるいは人命を失っているところがあります。被災された皆さんにはお見舞いを申し上げますところですが、いつ何が来るかわかりませんので、我々もすぐに対応できるようにできるだけやっていきたいと思っております。</p> <p>金曜日国の機関の方とお話しさせていただきましたが、この地帯スーパーダムができて非常に助かったということで、夕張川の水がたいして大水になってなかったのは池に相当余裕があったということです。町内のきのこ愛好会の方のお話を聞くと、夕張の山も相当土砂崩れがあり今まで車できのこ狩りに行けたのがいけなかったという話を聞いていますので、やはり将来を見据えた公共事業等が必要なのではないか、今回の災害を見てつくづく感じたところです。</p> <p>わが町も国と一緒に将来に向けて安心安全なまちづくりを進めていきたいなと思っております。また、基幹産業の農業につきましても、非常に気候変動の激しい年でありましたけれども、農協のお話を聞くと、概ね平年並みには推移するだろうということですので、ほっとしている所ではあります。人口減少がなかなか止まらないということで、11月1日現在で7、</p>
----------------------------	---

<p>3 懇談 事務局</p> <p>事務局</p>	<p>808名です。なんとか地方創生の事業の中でわが町に来てもらう、あるいは出ていかないような政策をとりながらやっている所でありますし、今年から始めました子育て世代を対象とした最大200万円の助成、北海道住宅供給公社の宅地を半額になるということをしています。決まったもの、あるいは問い合わせを含めると、10数件来ています。5カ年計画でやっておりますので少しでも人口減少の歯止めをしたいと思っておりますので、知り合い等ありましたらぜひこの話を持ちかけていただければと思っております。また、5月にオープンさせていただきました新しいプール、健康増進の意味も含めて行ってございまして、10月いっぱいまでたくさんの方に来ていただいたということは、健康に意欲がある方々が多いあるいは、プールができて良かったということで来ていただいております、町外からも結構来ていただいているようです。何とかこれらを使いながら来年度以降多くの方々が来ていただけるようにしてまいりたいと思っております。</p> <p>今日は第6期総合計画の内容についてお話をさせていただきます。多くの皆さん方の意見をいただき、向こう10年の町の指針作ります。ぜひ多くの皆さんのご意見をいただき町の計画をしっかりと作っていきたくと思っておりますので、お願い申し上げ、地域課題は後程話させていただきますけども、皆さん方からのご意見をいただいた中で新年度がスタートできるようにしていきたいと思っておりますので、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(1) 総合計画の策定に向けた意見・提言</p> <p>それでは、懇談に入らせていただきます。(1) 総合計画の策定に向けた意見・提言について、まず事務局から資料の説明をさせていただきます。説明時間につきましては、15分程度ですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>皆さん、こんにちは。私からは、本年度中の策定に向けて、協議・検討を進めております、第6期の南幌町総合計画案について、説明をさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。まず、本日、お配りした資料でございますが、昨年度に、少子高齢化の進行による人口減少の一方で拡大する大都市への集中や経済のグローバル化などを原因とします、社会経済情勢の大きな変化が起きている中、町の厳しい財政事情も考慮しな</p>
--------------------------------	---

がら、人口減少時代への対応と、地方創生などを目指して、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定したところですが、この総合戦略と現行の総合計画や国と道の動向などを踏まえて、役場内で検討した施策や事業を、南幌町総合計画策定審議会に提案、審議いただいた内容が基になっております。

そこで、1枚目ですけれども、向かって左側には、総合計画の考え方や構成などが出ております。総合計画とは、将来のまちづくりの基本的な方向性を示して、それを実現するための方法を定めた、長期計画でございます。この計画の策定にあたっての基本的な考え方といたしましては、政策目標や成果指標を明らかにして、施策・事業の評価や達成度を測ることができる計画とし、さらには、社会経済的変化に柔軟に対応できる計画としております。また、計画の構成につきましては、まちの将来の姿などを示す基本構想、施策からなる基本計画、その施策に沿って実施する事業であります、実施計画からとなっております。このうち、基本計画は計画期間が10年間となっておりますが、先ほど申し上げましたとおり、現在の社会的経済的変化のサイクルはとて短くて、急激でありますので、5年後に状況に応じて見直すことにしております。

次に、その右ですが、5分野からなります、現段階の基本計画案になっております。今後、一部見直しもあろうかとは思いますが、基本的には、今の総合計画や総合戦略の施策の方向性を引き継いでいく形になっております。この中で、行財政分野では、住民参加・協働の推進や総合戦略の中でも積極的に取り組んでおります、広域行政の推進、産業経済分野では、収益性の高い農業の確立、担い手育成などの農業施策関係や商工関連施策、教育・文化分野では、小中学校や高校教育の充実と支援、社会教育やスポーツ活動、芸術・文化活動などの推進、保健福祉・医療分野では、健康予防対策、高齢者福祉や児童福祉関係、生活環境分野では、快適な都市環境づくりや防災対策などを打ち出しております。

2枚目をお開き願います。このページでは、1枚目に掲載されておりました施策に沿って実施します、第6期総合計画における、主な事業の一覧表となっております。このうち、カッコ書きで継続となっております事業につきましては、現在、実施中でして、今後も継続して実施する予定の事業であり、内容的には、既に広報などでもお知らせしておりますので、申し訳ございませんが、本日は説明を省略させていただきます。

最初に、左上の行財政分野でございますが、築35年が経過し、劣化している役場庁舎の内装や省エネ対策としてLED化などの改修を予定しております。その下、産業経済分野では、子育て支援米の中学生までの支給拡充の他、市街地にあります、空き店舗の活用支援として、テナント料の一部助成、また、農産物直売所につきましては、現在、整備に向けて、課題なども含めて検討しているところです。

左側の一番下、教育・文化分野では、保護者負担軽減や食育などを目的に、学校給食におけるパンや麺に使用する南幌産小麦への全額負担、みどり野小学校として開校して以来、20年が経過し、設備に劣化がみられる、現在の南幌小学校の改修、また南幌高校支援や保護者の負担軽減の一環として、南幌中学校から南幌高校への入学に対する祝金の支給、定期券購入補助から学校単位を基本として、保護者による送迎などに対しても一律助成できるよう見直し拡充を行う高校生通学費補助、これは例えば、江別高校への通学に対しては、夕鉄バスを利用する場合でも、保護者による送迎であっても、一律いくらくらくを助成するという仕組みを検討しているところです。この他、スポセンのトレーニング器具の更新や、基礎・基本学習を主体に、家庭環境などにより学習が困難な児童生徒の支援などにもつながる、公設の学習塾の開設に向けて、現在、課題なども含めて検討しているところです。

保健福祉・医療分野では、子育て世代の負担軽減や少子化対策の一環として、保育料の引き下げを予定しております。現在の検討案では、近隣市や町で保育料が低いとされる自治体と同程度となることになっております。また、赤ちゃんと触れ合う機会が少ない、少子化時代に赤ちゃんやその親と間近に触れ合うことで命の大切さや親のありがたみを体験してもらい、命のふれあい交流についても検討しているところです。

生活環境分野では昭和56年から供用を開始し、老朽化が進んでいることから、安全で安定した水道水の供給を目指して、南幌温泉に隣接した、長幌第2浄水場の改築、こちらは、長幌上水道企業団への負担金事業となります。防災関連では、役場庁舎への非常用発電装置の設置や洪水ハザードマップの作成などの他、一部、観光協会事業なども含まれておりますが、イベント出店強化、町の最大の観光施設である南幌温泉との連携強化や、町内案内マップの作成、案内看板修繕など情報発信強化による観光振興、また、建設の際の借金返済が終わり、使い方の自由度が

	<p>高まる、ビューローの利活用の推進や今後、増加が予想される中古住宅の購入助成などを検討しているところです。</p> <p>もちろん、今、資料にあります事業以外にも、例えば、農業関係では、土地改良事業や保健福祉・医療分野では、高齢者福祉関係なども、これまでの取り組みを継続して実施していく予定となっておりますが、新規や継続拡充事業も含めて、全般的に、現在、協議・検討中でありますので、今後、変更となる場合もあることをご承知おき願います。以上、簡単ではありますが、第6期総合計画に関する説明を終わります。</p> <p><質問・意見></p> <p>以上で説明が終わりました。この後、町長との懇談の時間もありますので、質問等の内容によっては、その懇談の時間の中でお話をさせていただく場合がありますことをご了承ください。</p> <p>それでは、先ほどの説明に関して、ご質問やご意見を賜りたいと存じます。できる限り、一人でもより多くの方からのご意見をいただければと思っております。恐縮ですが、ご質問等のある方は、手を挙げてこちらにお知らせください。</p> <p>なし</p>
事務局	<p>(2) 地域課題等に係る町長との意見交換</p> <p>それでは引き続き、皆様と町長との懇談に入らせていただきます。これ以降につきましては町長が進行します。よろしくお願いいたします。</p>
町長	<p>2点ほど私からお話しさせていただきます。今、防災無線のデジタル化を進めており、それぞれ戸別受信機を皆さんへお届けしていくということで、2月いっぱいまでには終わるのではないかと考えており、4月から新しい形でできるように行っております。民間業者の方が一般家庭へお邪魔するかと思っておりますのでその件をお願い申し上げますことと、予てより商店街の企業誘致ということでいろいろ住民の方からお話を伺っていたところですが、ようやくこの度ドラッグストアのツルハさんが来ていただくこととなりました。オープンは来年の7月後半ということで聞いております。売り場面積は大店法の関係もありまして、</p>

売り場面積が999㎡ということで、敷地は駐車場含め、約3,500㎡となります。ニコットと並ぶということであります。実は、少し遅れたのは、できればスーパーにも来ていただきたいということで協議をさせていただきながら一般のスーパーと交渉していましたが、なかなか今すぐ南幌町に出店をするということにはならないということで、ツルハ単独での出店となりました。スーパーさんと縁が切れたわけではなく、様子を見ているということと、社内事情があるということですので、なんとか今後も誘致活動をして3店そろそろ、長沼さんのラッキー3店ですのであいう形になればもっと人の交流ができるのではないかと、あるいは中央通りに人通りがあるのではないかと相乗効果を期待しながら今後も誘致活動を進めていきたいと思っています。その他、今年度もアイドル活用をしながら知名度高揚を図っているところでありまして、そちらのほうは札幌でも徐々に南幌町は近くにあるということが大分知っていただけたところです。これを継続しながら今年いっぱい南幌を知っていただけるようにまた、インターネット等を利用してわが町の情報発信をしておりますので、そちらのほうのご意見もいただければと思っておりますので、この後は皆さんが日頃感じていることを是非お話しいただければありがたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

町 民

町議の方や、役場職員の方が大勢いらっしゃいますので、非常にやりやすいなと思っております。私は10月22日のまちづくりワークショップに出席しました。南幌町の移住定住促進ということで子育て世代を呼び込もうということですが、それに若干重複するかもしれないですが、この計画向こう10年間ということですから視点を広く考えました。まず一番目として、きらら街道の道幅をもう少し広くしてほしいです。自転車道や歩道も設置していただいて、私江別行く時は必ずきらら街道を通っていきますが、国道337号線行って12号線から行くことはまずないのですが、交通量が多いです。江別高校や栗山高校まで生徒さんが自転車で走っていますが、あれが一番緊張します。特に冬になり温泉行くときに2、3台の車が落ちていることもありますし、何とかもう一期頑張ってください道幅の拡張をしていただきたい。それに関連しまして、遊水池ができますので、平時は水辺ができて良い観光スポット、憩いの地になるかと思いますが、そこに行くのに6キロ程度散策路でウォーキング

<p>町 長</p>	<p>するのよい良い距離だと思います。南幌町は4つの川に影響受けており、旧夕張川、新夕張川、千歳川、石狩川ということですが、それらの堤防を通して歩けないかということで歩いてみたのですが、雑木林があつて2、3キロ歩けなかったです。それが貫通すれば43キロになります。道もがたがたなのもありますし、通れないところもありますが、もう少し整備すれば43キロのサイクリングロード的な、またはマラソンのものもできて、あの形がハート型となっています。丁度南幌温泉がハートの窪地のようになっており、それを何とか観光資源として使えるのではないかと考えております。完成すれば町の大きな観光資源になるのでは是非やってほしいと思います。それから、町の人口がどんどん減っていますが、去年も言いましたが、合同墓等も考えなければならぬのではないかと考えています。宗教に関係ない形で合同墓を作って皆がお参りできるようなことも今後10年間で考えていただければと思います。南幌高校ですが、これには継続ということが書かれていますが、絶対に無くしてほしくないと思っています。色々な各種助成という形になってはいますが、今年20人を切ったと聞きます。来年も新入生20人切るという話を聞いております。まず、高校をなくしてほしくないということと、特色のある高校へ変えていかなければならないと思っています。職業科を造成する、全国を対象として女性の入学科を作ってはどうかという形で特色のある科を考えてほしいと思います。5番目ですが、南幌町の認知度アップの話ですが、南幌町の検定試験、ご当地検定ですがたとえば、京都検定や北海道観光検定や札幌観光検定等ありますが、町を対象として南幌町検定を一度やってみたらどうでしょうか。基本的に毎年で、南幌町の歴史や文化、産業、地理等南幌町の町民だけでなく全国に発信して検定試験を行い、テキスト等を販売し、受験料ももらうし、もし合格したら南幌町マイスター等の称号を与えてみてはどうか。南幌町に町歌があると思いますが、私は聞いたことありません。もう少し普及させて従来通り夕方6時に流すとかして町民に知っていただく、またはCDを作成して大会でもやって、町歌をPRしてほしい。もう一点、先日西股議員がおっしゃいましたが、介護予防の遊具設置いいですね。ああいうのが設置していたらやってみたいですね。町の広報では検討するということが書かれていましたが、是非お願いしたいと思っています。</p> <p>ありがとうございます。道路の大きさは道道と規格同じでセ</p>
------------	--

ンターラインついています。だから拡充しなくても通常のところと同じです。あくまでもきらら街道をやるのであれば、南幌町でやるしかないです。試算したところ数億となり、いまのところまだ手を付けられる状況ではないということで、色んな事業が無いか探していますが、事業の合致がなかなかしないということです。江別さんと今後の関係で前からやっているのですが、江別さんは今後やる予定はありませんということをおっしゃいました。そこで試算したところ数億かかるということ、それと用地買収も入りますのでなかなか簡単にいかないのも事実です。町に少し余裕ができてくるところこういうところに手を付けられると思いますが、車が通る通常の規格を持っていますので、それ以上を広げるとなると自分たちが行わなければならなくなる。歩道も道道に昇格するのであれば、町で工事をやっておいて、終わった後に申請をしてくださいというのが北海道の考えで、なかなか難しいのが現状です。2番目の遊水池、工事が終われば全線周れるようになりますが、その工事が終わるまでは、それをやるのは難しい。車両が堤防を相当通り、なぜ通るかという堤防強化して固めてしまい、最終的には堤防は舗装になります。そこまで我々はお願ひしております。フットパスも含めてサイクリングあるいは遊水池と遊水池を結ぶマラソンなど計画するものですから、そのために早くやってくれとはいっていますが、年次計画であって、遊水池は31年の完成予定となっています。堤防強化は旧夕張川まだまだ整備がされておらず完成がいつになるか見えていない状況です。一周できるようにしてくださいとお願ひはしています。4町で遊水池が全部できるから、マラソンでもやろうかという話はありませんでしたが、国道や道道を横断するのが非常に面倒となるのでそれはかなり厳しいということになると、江別と南幌はそういうところ使わないので、それは可能と思っています。遊歩道含めて楽しんでもらおうということは当然考えております。うちの遊水池は通常はたまらないです。なぜかという内水が増えたとき入れるようにしていますから、千歳川に出るような遊水池で、長沼さんみたいに3、4ヘクタール水が溜まっている湿地帯は出来ませんが、ある程度は対応出来る場所です。うちには雑種地や広い用地がありません。だから公園等の用地が無いと厳しいですが、長沼町さん、岩見沢市さんもそういう運動しましたが、地元の反対を受けて山を作ろうとしたが駄目だった等の状況もあるので、うちは空いている土地が無いのでなかなか難しいのではないかと思います。南幌高校は何

	<p>とか残したいということで毎年協議させていただいて、町ができる範囲でやらせていただいています。今回も新たに高校から要望があって拡充をさせていただいていますが、なかなか厳しい問題もあります。もう一つは、子どもたちがパーセント枠を使わないでフラットでどこの高校もいける現状で子どもたちが行きたい学校、親が行かせたい学校へ行けるという利点があり、その中で南幌高校を残そうというのはかなりハードですが、南幌高校の独自性、優位性を作らないといけない、高校と協議したなかでやっているのも頑張っていきたいと思います。南幌検定のアイデア的には、知ってもらうことができ、あるいは町民だけでもいいのかなということもありますし、検討する余地があるかもしれないと思いました。町歌ですが、放送でも流していますし、成人式でも流しています。中学校の吹奏楽部にボランティアフェスタで披露してもらいましたが、色んな所でお願いして吹奏楽で演奏してもらっています。介護遊具について、年寄が増えて高齢化率が30%になったということです。ここも含めて色々な施設があるが、来ることができればいいがなかなか難しい。歩いただけで健康になる健康器具の遊具は、将来的に行っていけないといけない。近くで利用させていただいて、健康増進になっていただこうと思っております。やれるものからやっというと思います。</p>
町 民	<p>きらら街道は町道ですか？</p>
町 長	<p>町道です。規格はあります。歩道を付けるのであれば南幌単独ということになります。お気持ちはわかります。道も自転車乗っている人を調査してくれて、少なかったことから緊急性を有することではないと判断されました。</p>
町 民	<p>札幌周辺から団地に新しく入ってきた人に話を聞いたりすると、定年になって南幌に来たけど、高齢になってくると近くで集まりがあるといいが、遠かったらいけないし、うちの中にこもってしまい、このままでは不安だから出て行ってしまうという話を聞きます。また、空き地があるので南幌に来ましたという方も、はじめ来たときは3、4年はハツラツとしていたのが、やはり年数経つと、近くに何かあれば出やすいのだけど遠くても運転できないし、ということでは言っていました。</p>

町 長	<p>あいくるを中心に高齢者対策でいろいろな事業をやっています。高齢者は足がなかなか向かないということで、数は少ないのですが、地域のコミュニティーセンターを活用させていただいてカフェサロンを始めました。ただ、町内会でいろいろやろうとしても、やってくれる人がなかなか少なくてまだできていません。そういう人が出来てくるとあちこちで出来ていますので進めていくべきで、近くなら歩いてもすぐできる、コミュニケーションも取れるようなことを町内会に広めて、特にコミュニティーセンターがあるところは話をできるような体制を作っていくべきではないかというご意見を検討していきます。</p>
町 民	<p>もともと住んでる高齢者が町外から来た高齢者を誘っていく立場なのかなと、今話を聞いて思いました。</p>
町 民	<p>ツルハさんが来るのはアインファーマンシーさんが持っている土地とは別ですか</p>
町 長	<p>別です。あれはアインさんが持っている土地で、最初はあの土地全部使ってドラックストア、スーパー等を行おうとしていましたが、終わってしまいました。人口が伸びなかったのが原因です。</p>
町 民	<p>病院の情報提供をお願いします。</p>
町 長	<p>現状は専属医師がいないですが、江別市立病院から応援をいただき2人来ていただいて町立病院として開いています。これからの高齢化に向かっていくので町立病院を持っていないといけないと思います。特殊な病気の方は札幌含めて行けるのですが、ちょっとした時に病院が無いといった話にはならないかと思っています。いろいろな方法を考えていかなければなりません。救急患者の受け入れ態勢はとっております。24時間診ていただける病院としてやっております。それを何とか残しながらやっていきたいと思っています。国も今改革プランが出てきています。それを見ながら町立病院としてどう残していくべきか、一生懸命やらなければならない。病院もないような町にはしたくないと思っています。そのためには負担も当然出ますが、住みよい環境の大きな要素となるので今後も町として病院を守っていくべきだと思います。国の動向によって内容が変わるかもしれま</p>

	<p>せんが、できるだけ今の形をなんとか残したいし、江別の市長さんや市立病院の院長さんも応援すると言っていますので、その体制を借りながら行きたいと思います。</p>
町 民	<p>江別や長沼の病院へ行く場合、車運転できないと交通費の負担が相当かかります。</p>
町 長	<p>交通手段の確保も含めて検討しなければならないと思います。</p>
4 閉 会 事務局	<p>以上でまちづくり地域懇談会を終了させていただきます。本日は、どうもお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>